

特別起稿

大学図書館について考える～その1～

健康・スポーツ心理学科教授：出雲輝彦

図書館は世界中にあります。そして、それらの多くはネットワークが形成されています。

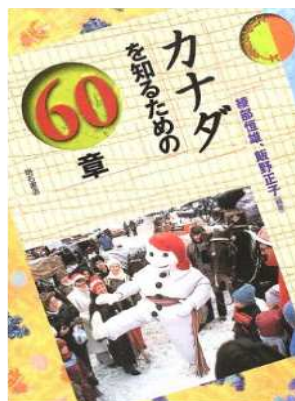
私は20数年前の大学院時代にカナダの図書館から母校図書館経由で、ある研究者の博士論文のマイクロフィッシュを取り寄せ、専用の機械でコピーした経験があります。

今でこそ、インターネットで手軽に研究資料（PDF等）が入手できますので、当然のことのように思われるかもしれませんが、当時はパソコンやインターネットが普及しはじめた頃でしたので、とても感慨深いものがありました。それ以来、私はカナダのスポーツ法・政策について研究をしています。

2007年～2013年の間に4度のカナダ現地調査を行い、滞在日数は50日を超えています。滞在中、カナダの3つの大学図書館、国立図書館および地域の図書館の計5カ所の図書館を利用しました。

このコーナーでは、カナダの図書館利用体験を通して大学図書館についてあれこれ考えていきたいと思えます。

<お薦めの1冊>



<カナダを知るための60章 エリア・スタディーズ>

カナダの自然と環境、歴史、政治・外交、経済、民族関係、社会、教育・言語・スポーツなどの項目について、各々の専門家が詳しく執筆した単行本。

「世界一住みよい国」といわれるカナダの一般に知られていない部分も紹介しており、カナダに行ってみようという人は読んでみる価値あり！かも。

★本のことでわからないことがあったら、図書館スタッフ（司書さん）に相談してね。

By とつくん

